

2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月12日

上場会社名 株式会社 トラスト 上場取引所 東
 コード番号 3347 URL https://www.trust-ltd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 賢司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 谷中 一晴 TEL 052-219-9058
 定時株主総会開催予定日 2022年6月23日 配当支払開始予定日 2022年6月8日
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日~2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	27,617	37.5	1,856	251.9	1,914	253.7	827	-
2021年3月期	20,080	△0.3	527	△63.6	541	△60.7	49	△85.9

(注) 包括利益 2022年3月期 1,354百万円 (288.7%) 2021年3月期 348百万円 (△56.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	31.96	-	11.4	6.1	6.7
2021年3月期	1.91	-	0.7	1.9	2.6

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 -百万円 2021年3月期 -百万円

(2) 結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	33,612	11,629	22.7	294.96
2021年3月期	28,998	10,427	23.7	265.21

(参考) 自己資本 2022年3月期 7,632百万円 2021年3月期 6,862百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	4,783	△2,442	△1,673	1,418
2021年3月期	4,483	△1,287	△2,827	718

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	-	2.00	-	2.00	4.00	103	209.4	1.5
2022年3月期	-	2.00	-	4.00	6.00	155	18.8	2.1
2023年3月期(予想)	-	2.00	-	2.00	4.00		15.0	

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,800	4.3	800	1.7	750	0.3	310	27.5	11.98
通期	28,800	4.3	1,900	2.3	1,800	△6.0	750	△9.3	28.98

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2022年3月期	28,150,000株	2021年3月期	28,150,000株
2022年3月期	2,273,100株	2021年3月期	2,273,100株
2022年3月期	25,876,900株	2021年3月期	25,876,900株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	9,184	82.9	135	—	355	—	245	—
2021年3月期	5,023	△11.4	△235	—	△131	—	△140	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	9.49	—
2021年3月期	△5.44	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	8,767	3,281	37.4	126.82
2021年3月期	6,146	3,142	51.1	121.45

(参考) 自己資本 2022年3月期 3,281百万円 2021年3月期 3,142百万円

2. 2023年3月期の個別業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,240	15.4	122	4.5	85	△10.6	3.30
通期	9,176	△0.1	188	△47.0	131	△46.3	5.06

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概要(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染状況が一旦落ち着き回復に進んだものの、原油価格高騰や供給不足に伴う物価上昇、世界的な半導体不足による生産体制の縮小、急激な円安、新型コロナウイルス第6波7波の懸念など、依然として不確実な状況にあります。

世界経済においては、ロシアによるウクライナ侵攻の影響によりエネルギー価格の高騰や経済制裁に伴う物流の乱れなどが生じ、世界経済及び日本経済は先行き不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、自動車の所有から利用の流れの中で安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、売上高27,617百万円(前期比37.5%増)、営業利益1,856百万円(前期比251.9%増)、経常利益1,914百万円(前期比253.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益827百万円(前期49百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった一昨年に比べ需要は回復しており、アラブ首長国連邦、ニュージーランドといった主要輸出先が当業界を牽引し、この一年は、輸出台数が大幅に増加しました。

新車輸出業界において、世界的な半導体不足による減産や新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、その生産台数が減少しており、それにともなって中古自動車の需要が高まっております。需要の高まりに応じてオークション相場が高騰する等の影響が生じているものの、当連結会計年度における業界全体の輸出台数は122.2万台(前期比17.3%増)と大きく増加しました。

このような状況のなか、当社主要輸出先であるアフリカ地域、オセアニア地域、中南米地域へのBtoC販売先台数は減少したものの、BtoB販売先に注力し始めたアジア地域、オセアニア地域への輸出台数が増加し、当社グループの輸出台数の合計は5,930台(前期比54.7%増)となりました。

その結果、当連結会計年度における業績は、売上高9,184百万円(前期比82.9%増)、営業利益135百万円(前期営業損失236百万円)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界においても、需要はコロナ禍以前の状況まで戻ってきているものの、限られた需要に対して各社の競争は益々激しくなっております。

このような状況のなか、当社グループは、当連結会計年度においてより効率的な運営の為一部店舗の移転をし、直営店及びF C店の総店舗数は184店、総保有台数は20,562台(前期比5.1%増)(※うち、Jネットブランドのみの店舗数は125店、保有台数は14,664台(前期比7.8%増))となりました。また、顧客満足度向上のため車両の高年式化やインターネット・TV CMなど各種媒体への広告拡大による知名度の浸透を図るとともに、楽天ポイントカードやレンタルバイク店舗の出店など様々な施策を継続実施し、個人・法人顧客の獲得に注力いたしました。中古車販売においては、新車減産にともなう中古車人気も相まって「Jネットカーズ」ブランドを中心に伸張し、売上高・営業利益ともに前期を上回りました。

その結果、当連結会計年度における業績は、売上高13,228百万円(前期比6.1%増)、営業利益1,601百万円(前期比111.7%増)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、一部のマスク着用義務やイベント会場等の収容人数制限は残るものの、新型コロナウイルス感染症の感染数は一日当たり2,000人前後と横ばいに推移し、ロックダウンレベルが解除される等、コロナ禍以前の日常に戻りつつあります。2021年1-12月期の新車販売台数は46.4万台(前期比22.1%増)となり大幅に増加しております。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国でスズキディーラー4店舗を運営しております。新車販売台数は合計2,223台(前期比84.8%増)、中古車販売台数は合計1,069台(前期比18.4%増)となり合計販売台数は合計3,292台(前期比56.3%増)となっております。

その結果、当連結会計年度における業績は、売上高5,402百万円(前期比94.0%増)、営業利益123百万円(前期営業損失1百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて25.6%増加し、16,569百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1,230百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.8%増加し、17,042百万円となりました。これは、リース資産が298百万円増加したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて15.9%増加し、33,612百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて24.2%増加し、17,398百万円となりました。これは、リース債務（流動）が127百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、4,584百万円となりました。これは、資産除去債務が4百万円増加したことなどによります。

その結果、負債は、前連結会計年度末に比べて18.4%増加し、21,982百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて11.5%増加し、11,629百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ700百万円増加し、1,418百万円となりました。なお、当連結会計年度の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において、営業活動の結果獲得した資金は4,783百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益1,912百万円、減価償却費4,640百万円があったことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において、投資活動の結果使用した資金は2,442百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2,375百万円があったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において、財務活動の結果使用した資金は1,673百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出3,811百万円があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
自己資本比率	21.6%	22.7%	23.6%	23.7%	22.7%
時価ベースの自己資本比率	24.1%	18.4%	12.6%	15.6%	16.9%
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	164.9%	120.8%	136.5%	217.5%	259.2%
インタレスト・カバレッジ・ レシオ	46.9倍	58.2倍	87.8倍	39.0倍	38.6倍

(注) 1. 自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

(株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。)

キャッシュ・フロー対有利子負債率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたBtoC販売の拡充、継続的なBtoB販売先の新規開拓、部品販売の強化等により引き続き売上の拡大に努めてまいります。レンタカー事業につきましては、既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を積極的に推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。海外自動車ディーラー事業につきましては、既存店舗の更なる収益改善に努め、売上拡大及び利益向上を図ってまいります。いずれの事業におきましても、今後の新型コロナウイルス感染症の推移やロシア・ウクライナ情勢及び為替の動向等の影響は依然不透明であり、今後の見通しが立てづらい環境下にはございますが、株主様をはじめとするステークホルダーの皆様方の安全・安心を最優先に事業を継続してまいります。

以上の結果、2023年3月期の連結業績の見通しにつきましては、売上高28,800百万円（前期比4.3%増）、営業利益1,900百万円（前期比2.3%増）、経常利益は1,800百万円（前期比6.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は750百万円（前期比9.3%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	718,268	1,418,511
受取手形及び売掛金	2,589,934	3,820,919
リース債権及びリース投資資産	7,310,716	7,415,826
商品及び製品	1,965,323	3,217,384
仕掛品	665	954
原材料及び貯蔵品	28,114	32,213
その他	768,166	859,372
貸倒引当金	△192,630	△195,739
流動資産合計	13,188,557	16,569,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,677,914	2,808,139
減価償却累計額	△856,222	△969,585
建物及び構築物 (純額)	1,821,692	1,838,553
機械装置及び運搬具	5,598,832	6,425,470
減価償却累計額	△2,803,364	△2,864,331
機械装置及び運搬具 (純額)	2,795,467	3,561,138
土地	3,500,983	3,500,983
リース資産	10,025,264	10,956,544
減価償却累計額	△3,342,271	△3,974,912
リース資産 (純額)	6,682,992	6,981,632
その他	195,408	227,541
減価償却累計額	△130,894	△154,485
その他 (純額)	64,514	73,055
建設仮勘定	14,282	8,317
有形固定資産合計	14,879,932	15,963,682
無形固定資産		
のれん	57,477	52,630
その他	57,180	72,881
無形固定資産合計	114,657	125,512
投資その他の資産		
投資有価証券	274,869	291,602
長期貸付金	147,799	139,845
繰延税金資産	82,526	184,575
その他	351,804	420,675
貸倒引当金	△41,456	△83,002
投資その他の資産合計	815,543	953,696
固定資産合計	15,810,133	17,042,890
資産合計	28,998,691	33,612,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	610,767	573,409
短期借入金	2,450,000	4,750,000
1年内返済予定の長期借入金	9,996	2,519
リース債務	9,550,341	9,677,557
未払法人税等	6,896	588,314
賞与引当金	122,792	139,341
その他	1,253,485	1,666,997
流動負債合計	14,004,279	17,398,139
固定負債		
長期借入金	2,519	—
リース債務	4,413,068	4,408,633
役員退職慰労引当金	10,135	11,685
資産除去債務	71,526	75,922
その他	69,778	88,111
固定負債合計	4,567,028	4,584,352
負債合計	18,571,308	21,982,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	4,985,721	5,709,255
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	6,891,312	7,614,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,562	15,500
為替換算調整勘定	△47,088	2,421
その他の包括利益累計額合計	△28,525	17,922
非支配株主持分	3,564,596	3,997,074
純資産合計	10,427,383	11,629,843
負債純資産合計	28,998,691	33,612,335

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	20,080,231	27,617,161
売上原価	15,195,880	20,870,394
売上総利益	4,884,351	6,746,766
販売費及び一般管理費	4,356,688	4,889,770
営業利益	527,663	1,856,995
営業外収益		
受取利息	9,224	10,626
受取配当金	5,720	6,927
為替差益	35,735	155,587
投資有価証券償還益	48	—
受取保険金	5,380	1,051
受取補償金	575	20
助成金収入	27,901	2,387
債務勘定整理益	2,259	—
その他	20,664	10,503
営業外収益合計	107,510	187,104
営業外費用		
支払利息	89,215	124,081
支払保証料	3,669	2,877
その他	943	2,170
営業外費用合計	93,828	129,129
経常利益	541,344	1,914,970
特別利益		
投資有価証券売却益	11,582	—
特別利益合計	11,582	—
特別損失		
固定資産除却損	59	2,042
特別損失合計	59	2,042
税金等調整前当期純利益	552,867	1,912,928
法人税、住民税及び事業税	235,969	703,225
法人税等調整額	32,627	△98,134
法人税等合計	268,597	605,090
当期純利益	284,269	1,307,837
非支配株主に帰属する当期純利益	234,761	480,795
親会社株主に帰属する当期純利益	49,507	827,041

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	284,269	1,307,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,944	△3,052
為替換算調整勘定	44,212	49,510
その他の包括利益合計	64,157	46,457
包括利益	348,426	1,354,294
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	113,645	873,489
非支配株主に係る包括利益	234,781	480,804

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,349,000	1,174,800	5,039,721	△618,209	6,945,312
当期変動額					
剰余金の配当			△103,507		△103,507
親会社株主に帰属する当期純利益			49,507		49,507
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△53,999	—	△53,999
当期末残高	1,349,000	1,174,800	4,985,721	△618,209	6,891,312

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△1,362	△91,301	△92,663	3,378,142	10,230,790
当期変動額					
剰余金の配当					△103,507
親会社株主に帰属する当期純利益					49,507
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	19,924	44,212	64,137	186,454	250,592
当期変動額合計	19,924	44,212	64,137	186,454	196,592
当期末残高	18,562	△47,088	△28,525	3,564,596	10,427,383

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,349,000	1,174,800	4,985,721	△618,209	6,891,312
当期変動額					
剰余金の配当			△103,507		△103,507
親会社株主に帰属する当期純利益			827,041		827,041
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			723,533		723,533
当期末残高	1,349,000	1,174,800	5,709,255	△618,209	7,614,846

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	18,562	△47,088	△28,525	3,564,596	10,427,383
当期変動額					
剰余金の配当					△103,507
親会社株主に帰属する当期純利益					827,041
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,061	49,510	46,448	432,477	478,926
当期変動額合計	△3,061	49,510	46,448	432,477	1,202,460
当期末残高	15,500	2,421	17,922	3,997,074	11,629,843

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	552,867	1,912,928
減価償却費	4,156,926	4,640,775
のれん償却額	6,099	6,189
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	197,702	44,929
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,031	16,549
受取利息及び受取配当金	△14,945	△17,554
支払利息	89,215	124,081
為替差損益 (△は益)	△3,724	△10,473
固定資産除却損	59	2,042
投資有価証券売却損益 (△は益)	△11,582	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△511,726	△1,264,593
棚卸資産の増減額 (△は増加)	964,351	△105,891
仕入債務の増減額 (△は減少)	△350,228	△71,823
未払消費税等の増減額 (△は減少)	453,394	109,901
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△633,796	△522,678
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	161,074	107,087
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△922	△1,888
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	12,063	17,743
その他	8,530	9,362
小計	5,082,391	4,996,689
利息及び配当金の受取額	14,580	17,106
利息の支払額	△114,893	△123,876
法人税等の支払額	△498,801	△106,194
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,483,277	4,783,724
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	4,890	—
有形固定資産の取得による支出	△1,461,288	△2,375,813
無形固定資産の取得による支出	△25,347	△37,427
投資有価証券の売却による収入	13,082	—
投資有価証券の取得による支出	—	△20,000
貸付けによる支出	—	△350
貸付金の回収による収入	191,474	13,827
敷金及び保証金の差入による支出	△60,991	△41,387
敷金及び保証金の回収による収入	56,663	27,212
その他	△5,550	△8,168
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,287,067	△2,442,107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	650,000	2,300,000
長期借入金の返済による支出	△14,470	△9,996
配当金の支払額	△103,528	△103,578
非支配株主への配当金の支払額	△48,327	△48,327
リース債務の返済による支出	△3,311,277	△3,811,532
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,827,602	△1,673,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,755	32,060
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	386,362	700,243
現金及び現金同等物の期首残高	331,906	718,268
現金及び現金同等物の期末残高	718,268	1,418,511

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取れると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、顧客との約束が財又はサービスを他の当事者によって提供されるように手配する履行義務である場合には、代理人として純額で収益を認識しております。

この結果、従前の会計処理と比較して、当連結会計年度の売上高及び売上原価はそれぞれ445,556千円減少しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取扱い商品及びサービス別にセグメントを構成しており、「中古車輸出事業」、「レンタカー事業」、「海外自動車ディーラー事業」を報告セグメントとしております。

「中古車輸出事業」は、インターネットでのWebサイトを利用して、主に海外の個人顧客向けに中古車の輸出版売を行っております。「レンタカー事業」は、フランチャイズ事業と併せて全国でレンタカーサービス、自動車リースサービスを提供しております。「海外自動車ディーラー事業」は、南アフリカ共和国において自動車ディーラーを運営し、新車・中古車の販売及び自動車の修理を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベース(のれんの償却前)の数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,981,237	12,313,791	2,785,203	20,080,231	—	20,080,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,776	158,407	—	200,184	△200,184	—
計	5,023,014	12,472,199	2,785,203	20,280,416	△200,184	20,080,231
セグメント利益又は損失(△)	△236,180	756,718	△1,131	519,406	8,256	527,663
セグメント資産	6,145,748	22,558,107	705,199	29,409,054	△410,362	28,998,691
セグメント負債	3,002,950	15,296,672	343,944	18,643,567	△72,258	18,571,308
その他の項目						
減価償却費	12,849	4,137,354	6,721	4,156,926	—	4,156,926
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	43,360	1,265,358	4,253	1,312,972	—	1,312,972

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,143,248	13,071,670	5,402,242	27,617,161	—	27,617,161
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,696	156,390	—	198,086	△198,086	—
計	9,184,945	13,228,060	5,402,242	27,815,247	△198,086	27,617,161
セグメント利益又は損失(△)	135,971	1,601,622	123,372	1,860,967	△3,971	1,856,995
セグメント資産	8,767,571	24,509,324	949,830	34,226,725	△614,389	33,612,335
セグメント負債	5,485,771	16,114,078	401,466	22,001,317	△18,824	21,982,492
その他の項目						
減価償却費	23,668	4,609,020	8,087	4,640,775	—	4,640,775
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	36,656	2,856,482	3,848	2,896,986	—	2,896,986

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(セグメント利益又は損失(△))

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	637	—
のれん償却額	△6,099	△6,189
棚卸資産の調整額	13,718	2,217
合計	8,256	△3,971

(セグメント資産)

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△306,342	△511,391
のれん償却額	△89,069	△94,402
棚卸資産の調整額	△6,471	△4,953
その他の調整額	△8,478	△3,642
合計	△410,362	△614,389

(セグメント負債)

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△63,780	△15,182
その他の調整額	△8,478	△3,642
合計	△72,258	△18,824

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	中古車輸出事業	レンタカー事業	海外自動車 ディーラー事業	合計
外部顧客への売上高	4,981,237	12,313,791	2,785,203	20,080,231

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アフリカ	北中南米	オセアニア	ヨーロッパ	アジア	合計
13,357,057	3,701,362	327,981	512,483	120,353	2,060,993	20,080,231

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	中古車輸出事業	レンタカー事業	海外自動車 ディーラー事業	合計
外部顧客への売上高	9,143,248	13,071,670	5,402,242	27,617,161

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アフリカ	北中南米	オセアニア	ヨーロッパ	アジア	合計
14,410,912	6,766,275	276,353	1,014,141	173,271	4,976,206	27,617,161

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	中古車輸出事業	レンタカー事業	海外自動車 ディーラー事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	6,099	6,099
当期末残高	—	—	3,534	53,943	57,477

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	中古車輸出事業	レンタカー事業	海外自動車 ディーラー事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	6,189	6,189
当期末残高	—	—	4,018	48,711	52,729

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	265円21銭	294円96銭
1株当たり当期純利益金額	1円91銭	31円96銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	49,507	827,041
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	49,507	827,041
期中平均株式数(株)	25,876,900	25,876,900

(重要な後発事象)

該当事項はありません。